

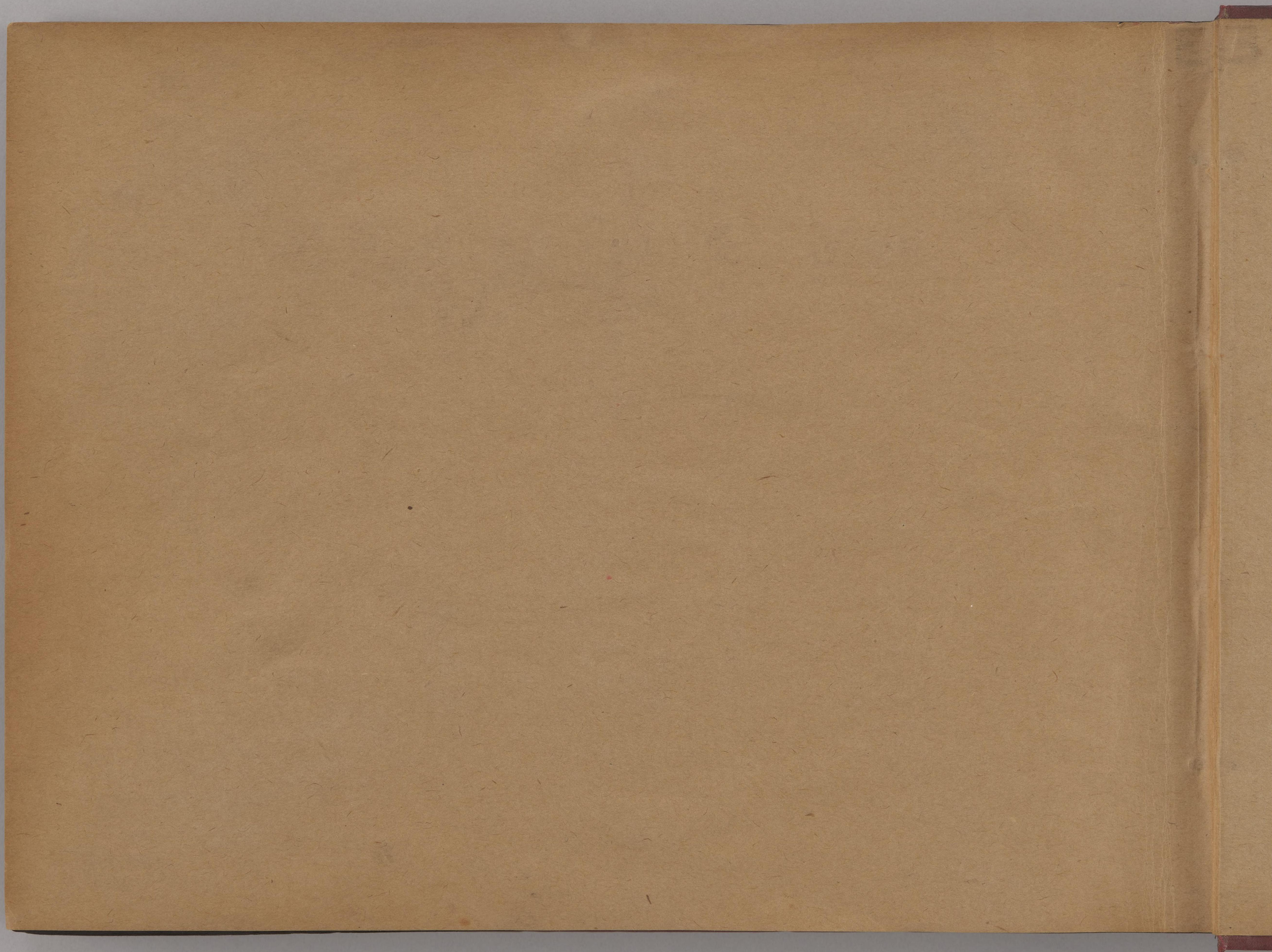
1201100596053

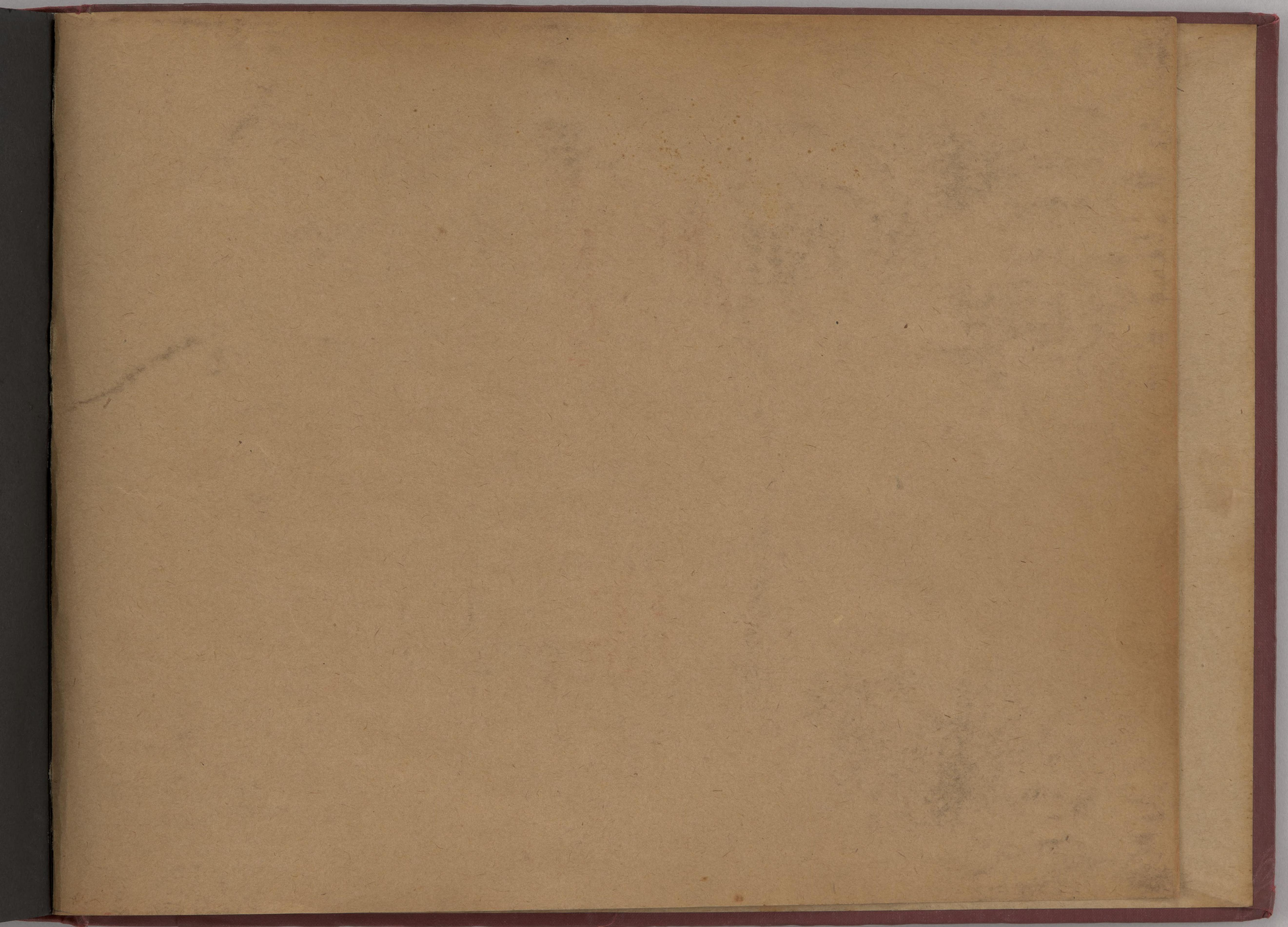


禁電子式複写











同盟寫眞

内地ニユース

第二號

◎六大學リーグ明立戦

(東京)十二年五月一日

六大學リーグ明立一同戦は一日午后零時半より
神宮球場に於いて開始、一〇對七で明大の勝と
なつた。

寫眞は

一、二回表立大志摩安打に出で三壘手の失策に
ホームをついて刺さる



同盟寫眞

内地ニユース

第三號

◎明治神宮大前で舞樂奉奏

(東京)十二年五月一日

一日は明治神宮の神宮列格記念日に當るので午
后一時から大前に於いて振鉦、甘州、林歌春鶯
囀其の他の舞樂を奉奏した。

寫眞は

一、舞樂の奉奏



同盟寫眞

内地ニユース

第一號

◎赤ちやんコンクール

優良兒は男卅五才 女廿四才のコンピで...

(東京) 十二年五月二日

中野高等女學校内の寶仙寺兒童健康相談所では
二日午前八時から同校で恆例の第十四回赤ちや
ん審査會を行つた、生憎の雨をついて赤ちやん
自慢の奥さん達が續々押しかけ、集つた赤ちや
んがざつと七百名、体重、身長、内臓と嚴密な
審査の結果選抜された二十名の優良兒が御褒美
を頂戴、審査主任の紺戸博士の話によると優良
兒の大部分は男卅四、五才、女廿四、五才のコ
ンピで出来るといふことだ。

寫眞は

一、赤ちやんコンクール風景



同盟寫眞

内地ニュース

第二號

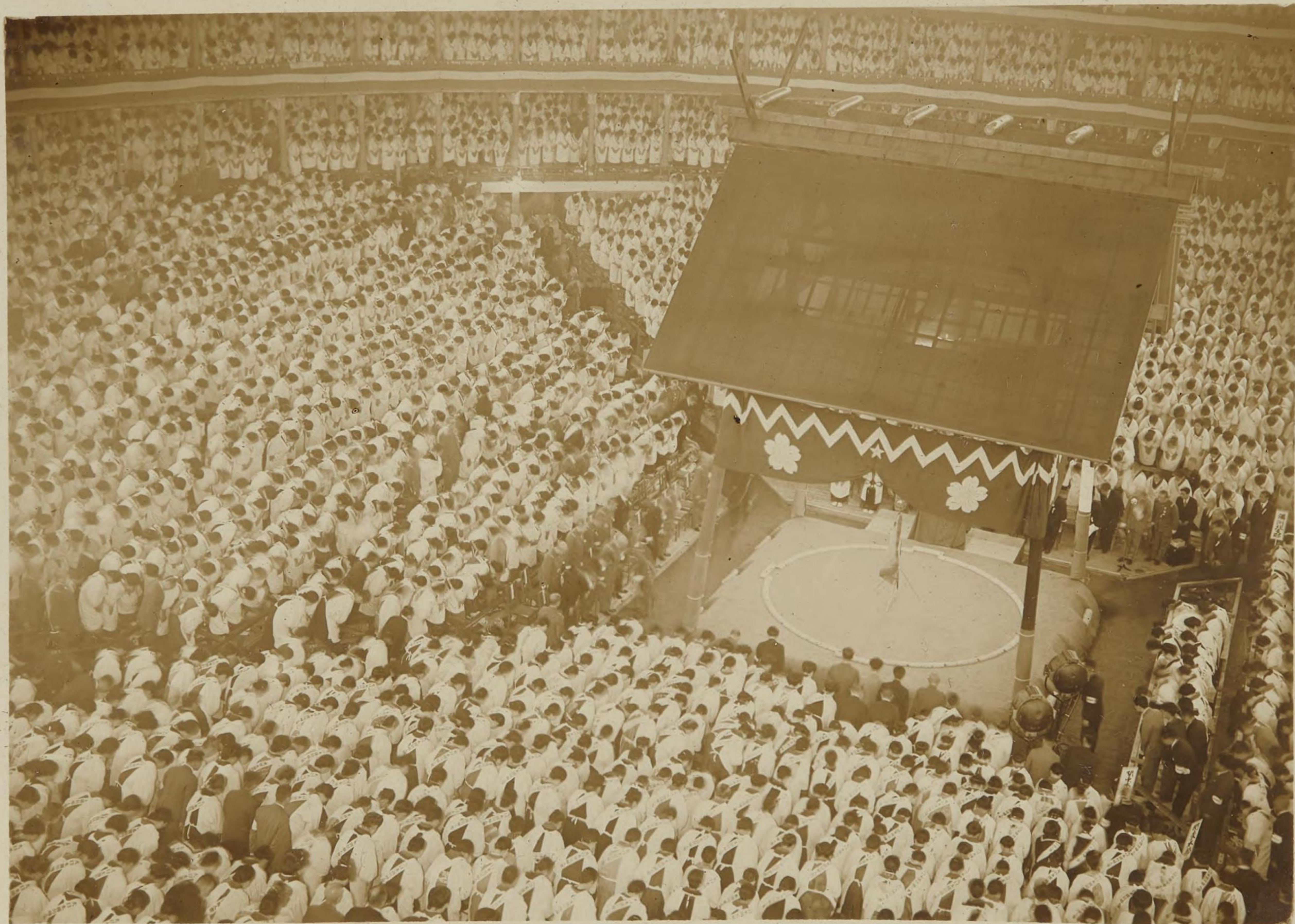
◎國防婦人會第二回總會

(東京)十二年五月二日

滿洲事變の當初、昭和七年春に「家庭國防の完璧」―銃後の後援は婦人の力で―をスローガンに結成された大日本國防婦人會はその後故武藤元帥の能婦子未亡人を會長として目覺しい發展を續け全國滿洲各地に分會數八千、會員總數四百萬人を算するに至つたので、五月二日午後一時から兩國國技館で第二回總會を盛大に開催、在京會員一萬、地方會員五千が出席、會の統制強化を議題に懇親會を開き、續いて習三日午後一時からは九段軍人會館に地方本部指導者協議會を開催、陸軍省、及川恩賞課長、海軍省多田軍事普及部第二課長も臨席して今後の指導方法を懇談する筈である。

寫眞は

一、第二回總會



同盟寫眞 海外ニユース 十二年五月三日

◎ワシントンの櫻まつり：

(ワシントン)發同盟

ワシントンの春に恆例の「櫻まつり」は去る四月八日ボトマックス河畔に咲き亂れる櫻花の下で、駐米齋藤博大使令嬢さき子さんを「櫻まつりの女王」に戴いて賑やかに行はれた、寫眞は司祭者メルビン・ハゼン氏から「櫻まつりの女王」の王冠を頂くさき子さん(中央)と侍女になつたまさ子さん(左)バーバラ・カルデウエルさん



同盟寫眞

内地ニユース

第六號

◎咲き誇る花菖蒲三百本

花卉聯盟から聖上陛下に献上

(東京) 十二年五月三日

端午の節句を奉祝し大日本花卉聯盟では四日午前十時聖上陛下に菖蒲盛花籠一籠を献上するこ
ととなつた、同聯盟は昭和九年皇太子殿下初の御節句を壽ぎ菖蒲を献上、御嘉納の光榮に浴してより年々献上して來たもので、三日午后青山南町六ノ一一五の聯盟總裁大隈信常侯邸に參集した役員一同は同邸内茶室で大隈侯指導の下に献上の盛花を謹製、諸般の準備を整へたが、献上の花は同聯盟會員が堀切、伊豆等で栽培した白、紫絞り、濃紫の菖蒲三百本で、長さ四尺五寸、巾二尺の相葉型鎧つなぎの竹籠に促成の菊花を配して挿した見事なものである。

寫眞は

一、献上の菖蒲と大隈侯



上献
大日本花卉聯盟

同盟寫眞

内地ニユース

第五號

◎愛婦の有功章授與式

(東京)十二年五月四日

愛國婦人會第三十六回總會は三日から來る九日
まで七日間に亘つて開催されるが第一日三日の
東京府及び關東六縣の有功章授與式に次いで四
日午前十時より九段の同會本部に於いて長くも
總裁東伏見宮妃殿下の台臨を仰ぎ會長本野久子
女史、副會長水野滿壽子女史、館東京府知事夫
人、牛塚東京市長夫人等全會員出席、全國各府
縣總計二千二百五十六名に對し有功章の授與式
を行つた。

寫眞は

一、總裁宮妃殿下より見受



同盟寫眞

内地ニユース

第四號

◎政友最終の選舉委員會

(東京)十二年五月四日

政友會では四日午前十一時より芝三緣亭に最終の選舉委員會を開催、四代行委員、選舉委員、安藤幹事長等出席、總選舉の後始末につき打合せを行つた後、

一、林内閣の打倒

一、眞正舉國一致内閣の實現

一、革新政策の提唱

の三點をめぐり新陣容に基く黨の正式態度につき種々凝議するところあつた。

寫眞は

一、(向つて左から)島田、安藤、前田、松野

堀切、鳩山、川村、金光、中島の諸氏



◎光榮に輝く人馬の妙技

Ⅱ大内山に天覽馬術Ⅱ

(東京)十二年五月五日

五月の風大内山の新緑に渡る五日、晴れの天覽馬術は尙武の意義も深きこの日午後二時から三重櫓の下舊本丸跡御馬場に於て天皇皇后兩陛下臨御のもとに行はせられ、西尾中將以下第一班の各個乗に次いで順次二班三班と馬場馬術野外騎乗障碍飛越等が進められ第九班近騎聯隊鈴木大尉指揮の各部隊選抜尉官十氏軍装に身を固め嘶く駒を乗りしづめ壯烈な野外騎乗、佩刀をおどらせて突撃の喊聲とともに假想敵の標的に白刃一閃 忽ち之を殲滅して實戦を偲ばせ續いて十班中島憲兵司令官等出場、最後の十三班では騎兵學校教官高橋大尉の指揮する大中尉學生六名の大障碍飛越、オリムピックに出場の榮ある名馬東中尉の「紫星」競を始め「松榮」「苑榮」等何れも駿馬をすくつて出場、馬場に松林に十ヶ所の一米卅の大障碍を見事に飛んで高等馬術の妙技を天覽に供し奉つた。

寫眞は一、馬上臨幸の聖上陛下 一、第一班西尾近衛師團長(左端)以下



寫眞は一、馬上臨幸の聖上陛下 一、第一班西
尾近衛師團長（左端）以下



◎皇后陛下の行啓を仰ぎ

赤十字社と愛國婦人會總會

(東京)十二年五月六日

日本赤十字社第四十五回通常總會は初夏の風薫る六日午前十時皇后陛下の行啓を仰ぎ青山權田原の憲法記念館に於て盛大に行はれた、陛下には高松宮妃殿下を始め御臨場の各宮妃殿下方を隨へさせられて式場の御座に出御、一同最敬禮中に御聲爽やかに有り難き令旨を賜ひ總裁宮殿下恭々しく御奉答あらせられて式は終り陛下には同十一時諸員の奉送を受けさせられて御發大宮御所に行啓あらせられた、皇太后陛下に御對面御挨拶を交はさせられ兩陛下御揃ひにて午餐を召され種々御物語りの爲皇后陛下には午后三時十分御所御出門、再び憲法記念館に行啓愛國婦人會總會に臨御同様令旨を賜ひ東伏見總裁宮殿下御奉答遊ばされ午后四時同所御發御機嫌御麗はしく宮城に還啓あらせられた

寫眞は

- 一、閑院總裁宮の奉答(赤十字總會)
- 一、式場に玉歩をはこばさらる、皇后陛下(同)





同盟寫眞

内地ニユース

第六號

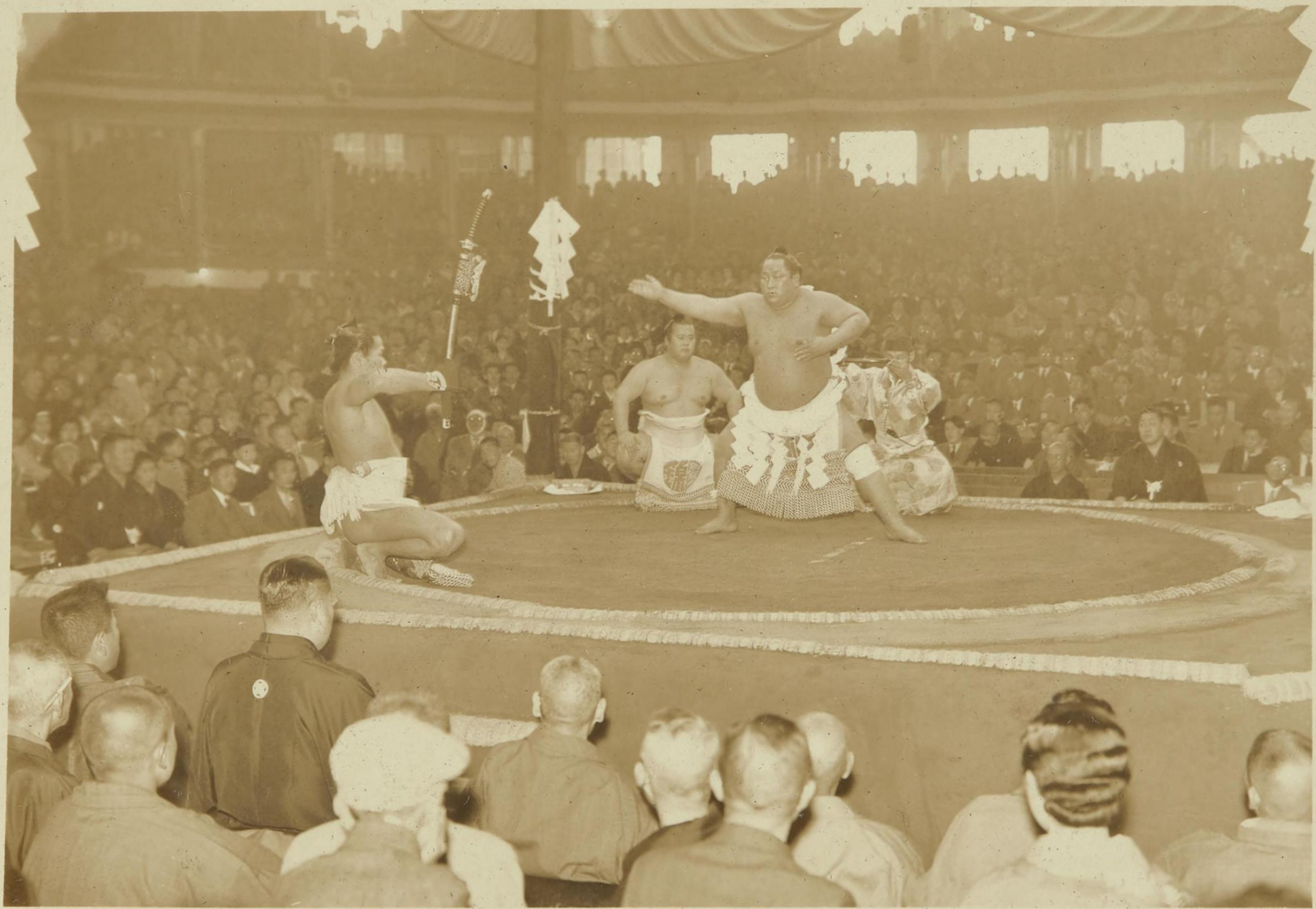
◎大相撲夏場所初日

(東京)十二年五月七日

ドン、と勇ましい櫓太鼓の音を大川のそよ風
にのせて七日午前四時から大相撲の蓋が開いた
初日は慣例によつて五十錢均一の大衆デーでは
あり生やさしいことでは迎も入場出来ぬと前日
午後五時頃から辨當、お茶を抱えて兩國國技館
をとり巻いたのだから何時もながら盛大なこと
此の日は慣例によつて中入前藤島取締から挨拶
があり前場所優勝者双葉山の優勝旗返還式が行
はれた後武藏、男女の休場で一人淋しい玉錦の
土俵入りが行はれた。

寫眞は

一、横綱玉錦の土俵入り



◎林内閣打倒に邁進

民政黨代議士會

(東京) 十二年五月七日

民政黨は七日午前十時より本部に新代議士會を開き打倒林内閣の旗幟の下に選出された新代議士總勢百七十九名中出京せるもの百五十餘名出席、開會劈頭先づ永井幹事長起つて挨拶を述べ次いで西村丹治郎氏を座長に推して議事に入り櫻内幸雄氏より選舉戰の各地情勢並にその成果につき報告、全國的な憲政擁護の氣運が總選舉を通じて明瞭となつた旨をのべ、終つて黨役員の改選に入り町田總裁の指名によつて黨筆頭總務、幹事長、政務調査會、正副會長、總務各部長並に代議士會正副會長をそれぞれ決定したる後最後に町田總裁萬雷の拍手に迎へられて登壇林内閣打倒の氣勢を昂揚させて正午盛會裡に散會ニ同丸の内會館における總裁の招宴に臨んだ寫眞は

一、町田總裁の演説



一、町田總裁の演説

同盟黨眞

内地ニユース

第六號

◎社大新代議士會開く

(東京)十二年五月八日

隨進社會大衆黨初の新代議士會は八日午後一時から丸の内帝國農會三階に於て開會新代議士三十七名並に中央執行委員全部出席、先づ平野總務部長より閉會の辭があり、次で代議士會議組織に關する報告があつて後代議士會議長に鈴木文治氏、同副議長に杉山元治郎氏、幹事に淺沼河上、龜井、水谷の四氏を擧げ再び平野總務部長より總選舉の戰勝報告があり、安部委員長(缺)麻生書記長兩氏の今後の黨の決意その他に關し、黨の國民大衆のために斷呼たる鬭争をなし、國內改革斷行すべき旨の挨拶があつた
寫眞は

一、鈴木文治氏の挨拶



同盟寫眞

内地三二一ス

第七號

◎政府彈劾具体化へ

民政黨初總務會

(東京)十二年五月八日

民政黨では八日午後一時より本部に初總務會を開き町田總裁以下小川、大塚、川崎(克)、高田田中(武)、永井、内ヶ崎、松本の八總務出席額合せを爲し事務分擔その他を決定、林内閣彈劾の具体的方法について協議した

寫眞は

一、初總務會



同盟写真三ノス

十三年五月九日

① リーク野球慶法戦

第三号

東京大等リーグ野球慶法對法政第一回戦は
九月廿五時半より明治神宮外苑球場に於て
開催
写真は一回裏法政の森谷不二ムスチール成らす
本壘に憤死





早大對慶應ヨントレース 第四号
早大對慶應ヨントレース 第三回戦は小湊横浜
マリンクラブクラスに於て
写真は十二吹級タートル



◎早慶陸上競技 第五号
 九日午後零時半より 神宮スタジアムに於て
 舉行
 写真は 上入場式 下百米スタート

◎空の熊蜂

（サンフランシスコ）發同盟

太平洋岸に於ける大演習を控へ米國陸軍航空隊
所屬の爆撃機は此の所猛練習中、寫眞は米空界
の偉力重爆機の編隊練習中



同盟寫眞

内地ニユース

第四號

◎高橋是清翁展覽會

Ⅱ在り日の温顔をしのぶ

(東京)十二年五月十日

「高橋是清翁展覽會」が十日から一週間白木屋で開かれる、在りし日の翁の高風を偲ぶ意義深いものばかり。翁の居室、お馴染みの毛皮の肩掛け、古ぼけた鞆、數多の勳章、其他身近のもの數十點、翁を偲ぶパネルマー。この日未亡人しな子刀自は老軀を會場に運んで思出の數刻を茲で過した。

寫眞は

一、會場に於けるしな子未亡人



同盟寫眞

内地ニヨリス

第四號

◎木會の艦上點呼

(東京)十二年五月十一日

五月の海の波を蹴つて二等巡洋艦木會(五、二〇〇トン)が芝浦岸壁に繫留された。十一日から十八日まで艦上點呼を行ひ来る十九日横須賀へ歸港の予定であるが當日は召集された在郷軍人も何年振りかで天晴れ水兵姿となり一日の海上生活をなつかしんだ。

寫眞は

一、木會の艦上點呼



同盟寫眞 海外ニュース 十二年五月十一日

◎曠古の盛典に沸き立つロンドン
(ロンドン) 發同盟

(1) 去る四月二十五日行はれた戴冠式鹵簿第二回
予行演習、御馬車バツキングム宮殿を出發し
てウエストミンスター寺院に進む



同盟寫眞

内地ニユース

第二一七號

◎英帝戴冠式遙拜式

(東京)十二年五月十二日

英帝戴冠式の日、芝區榮町のセント・アンドリ
ユース教會では十二日午前十時からクライヴ英
國大使主催の下に盛儀をしのぶ遙拜式を舉行、
高松宮、皇妃兩殿下、東伏見宮妃殿下の台臨を
仰ぎ林首相以下各閣僚外交團等約四百名参列、
ヘズレット僧正司式の下に壯嚴な式を行ひ午後
零時半から英大使館で奉祝午餐會、同四時三十分
より園遊會を催した。

寫眞は



寫眞は

同盟寫眞

内地ニユース

第一號

◎照宮様御遠足

(東京)十二年五月十二日

女子學習中期二年御在學の照宮様には遠足に御参加のため十二日午前七時半藤井御養育掛長、塘女官以下を従へさせられ東京驛に御成り、御同級生五十七名と共に同四十八分東京驛發電車にて立川に向はせられそれより御學友等と御揃ひでバスに御乗車、羽村の水道取入口を御見學、更に村山、山口兩貯水池境浄水場等御巡覽、午后四時五分代々木驛御着自動車にて直ちに呉竹寮に御歸還あらせられた。

寫眞は

一、村山貯水池附近にて謹寫



一、村山貯水池附近にて護寫

同盟寫眞 特殊ニユース 第一一三號

◎夏場所大相撲六日目

(東京)十二年五月十二日夜

勝

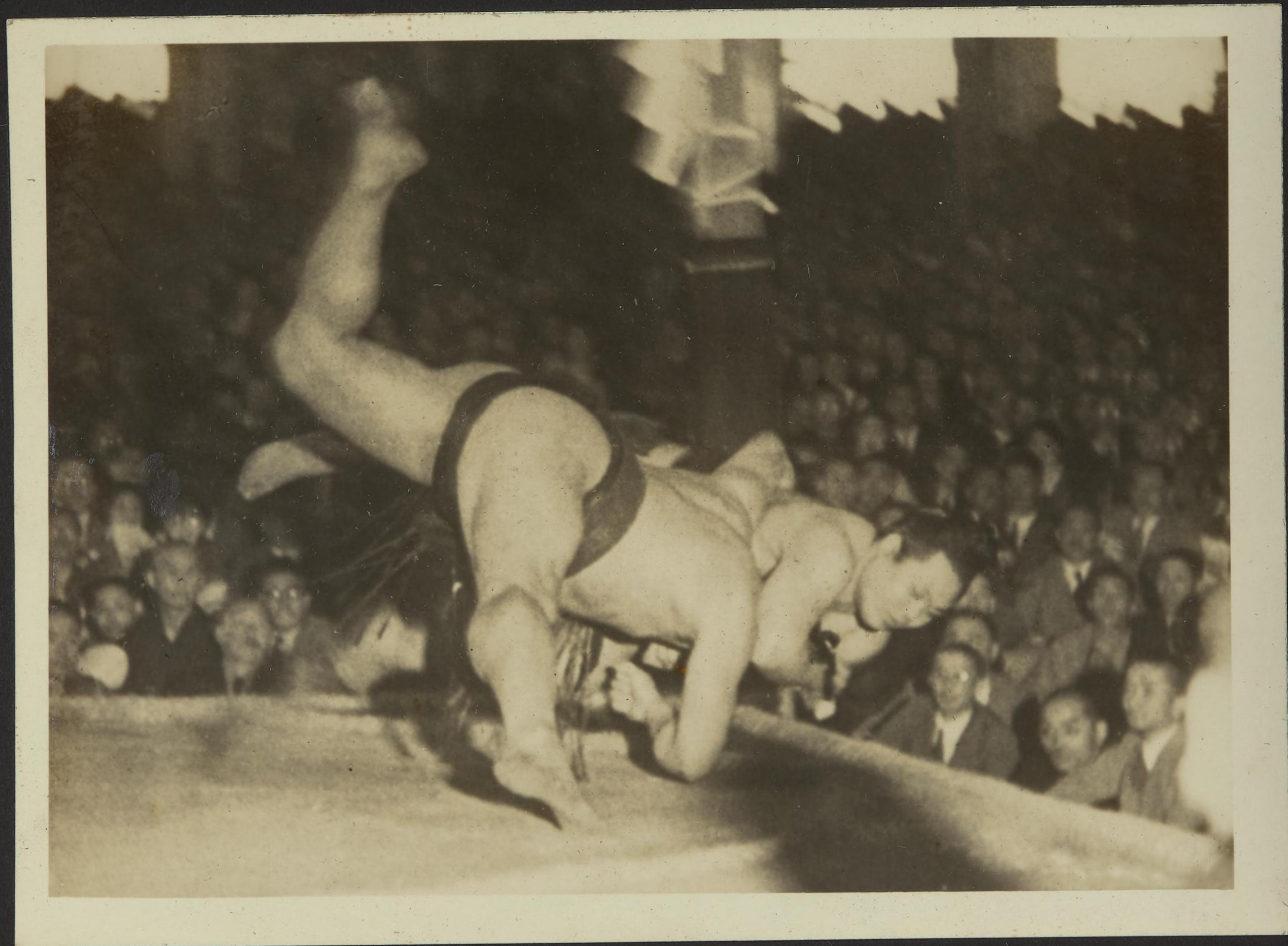
負

- 一、羽黒山 (寄倒し) 番神山
- 二、筑波嶺 (打棄り) 青葉山
- 三、新海 (切返し) 名寄岩
- 四、大潮 (寄倒し) 笠置山
- 五、兩國 (切返し) 玉ノ海
- 六、双葉山 (寄切り) 九州山

: : : :

(お断り)

發送時間の關係上一部地方は若干の遅延は免かれませんが。



免
か
れ
ま
せ
ん
。

同盟寫眞

内地ニユース

第一號

◎英帝戴冠式奉祝氣分

(東京)十二年五月十三日

英帝戴冠式御舉行の日、友邦盟主のお目出度き御祝典を祝ふ東京のこの夜は滿都をあげて奉祝景氣を各所に展開した。

寫眞は

- 一、銀座の奉祝景氣(右上)
- 一、戴冠式實況放送を聴く樺山氏母堂と米子夫人(右下) (於A、K)
- 一、同上松平宮相、信子夫人、嗣子一郎氏、同夫人豊子さん(於自邸) (左上)
- 一、廿七年前をしのぶ先々帝ジョージ五世陛下戴冠式參列の遣外艦除乘組員の祝賀會(於幸樂) (右より三人目和服米内海相、その向ふ安保大將) (左下)



向ふ安保大將（左下）

同盟寫眞

内地ニュース

第一號

◎東久邇檢閱使宮殿下

飛行部御檢閱の御旅

(東京)十二年五月十四日

陸軍航空兵團管下の各飛行部隊を御檢閱遊ばされる第二特命檢閱使の重任を帯びさせられた軍事參議東久邇宮殿下には十三日、立川飛行第五聯隊、十四日、浜松飛行第七聯隊始め各飛行部隊御巡閱の御旅につかせられるが、御搭乗機には畏くも民間のエンヴォイ機、ダグラス機等を御使用、民間航空界は齊しく感謝してゐる。

寫眞は

一、羽田飛行場にて謹寫



一、
羽田飛行場にて護衛

同盟寫眞

内地ニユース

第四號

◎ヒツトラー總統に

「暫」の人形を贈る

(東京)十二年五月十四日

國際人形協會代表者有坂興太郎、横山正三、成舞平兵衛三氏は十四日正午獨逸大使館にヒツラセン大使を訪問、同協會よりヒツトラー總統に贈る「暫」「元祿美人」の二名作を始め純日本的古典美の人形七十五點の贈呈式を行つた、これらは伯林各地で展覽會を開催して歐洲各國に日本の人形藝術を紹介するものである。

寫眞は

一、贈呈の人形と大使



一、贈呈の人形と大使

同盟寫眞

内地ニユース

第五號

◎横濱の戴冠式祝賀會

(横濱)十二年五月十四日

横濱YWCA俱樂部では十三日午後二時から同俱樂部に英帝戴冠式祝賀會を開催、クライヴ英大使以下京濱間在留の英人は日本人始め各國人を招待し兒童假裝舞踊劇を催した。寫眞は

一、クライヴ英大使の挨拶

一、兒童の假裝舞踊劇



同盟寫眞

内地ニユース

第一號

◎慶びの舞踏會

(東京)十二年五月十五日

英國大使館主催の戴冠式祝賀舞踏會は十四日夜帝國ホテルで開催、松平宮相夫妻、各國大公使を始め内外の紳士、淑女約六百名參會、午后九時半から或は故國の、或は友邦の戴冠式を心ゆくまで壽ぎ今曉二時華やかに散會。寫眞は

一、奉祝舞踏會



同盟寫眞

内地ニユース

第二號

◎航程二萬哩

海王丸壯途につく

(東京)十二年五月十五日

文部省航海練習所練習船海王丸は十五日午後
二時芝浦岸壁解纜第十六次遠洋航海の途にの
ぼつた航程一萬一千五百哩、九月二十日東京
着の豫定。

寫眞は

一、壯途についた海王丸



同盟 馬真内地三ノ文 第五号
の古風所しい流籠馬の神事

（東京）十二年五月十六日

牛込の六八幡神社では十六日の後
一瞬かゝ境内で同神社に伝はる

古風所しい流籠馬式を挙行
した。この神事は享保十三年徳

川吉宗八代村軍の將北馬地を將
軍が奉納の神事として初め執

行し小江以来代々の將軍宮から
奉納し小江の由緒あるものである。

馬真は

（流籠馬の神事）



同盟通信

寅真ニエトス

第一号

市長になるか、どうか

馬王を憐童考慮

(東京) 正月廿六日

東京市會の市長選挙委員会が、垣根大
 將を市長に推挙したるの日、元の時、十五日午後
 三時半ごろ當り、將は府上國之別邸に馬に乗つ
 てゐた。今春新に求めたばかりの「菊花」として、四歳
 牡の武藏野の青葉の中を初乗りをやる上、後尾が
 あるところ、市會の電話があつたのが、四時長閑に
 の支度をして、おれ旅館の主人、池田老人がまた腰を下して、ま
 り、五時十分松永林正副議長ほか五名の選挙委員が
 乗り込んで來る會見の時間、孰考の上、此御は筆
 したしまさう、いと噂の市長になく、正式交渉を爲す
 中垣は慎重のうちにも、なほ、色氣ある返事だ
 寅真は、馬上朗かな中垣先



◎街の天文學者五味君の譽れ

米國彗星協會から表彰さる

(東京)十二年五月十七日

昨年夏新星ノイワア・ラセルテエーを發見して世界の天文學界をアツと驚かした長野縣諏訪町本町の床屋さん五味一明君(二七)は、米國彗星觀測協會長、ハーヴァート大學天文學教室主任ハワー・シヤブレ博士から金メダルを贈つて表彰されることとなり、そのメダルが米國國務省を経て駐日米大使の許に届けられたのでその傳達式が十七日午前十時から米國大使館で行はれた、このメダルは經一寸位の圓い金のメダルで表面に英文で五味君の天文學界に對する功績を刻んだものである、この日郷里から欣然上京した五味君はグルー大使から讚辭と共にこれを授與されて大喜びだつた。

寫眞は

一、米大使より授與される五味君



同盟寫眞

内地ニユリス

第一號

◎地方長官會議第一日

(東京) 十二年五月十七日

杯内閣の下に於ける第二回地方長官會議は十六日召集十七日その第一日を首相官邸に開いた、今回の地方長官會議は總選舉後に於ける最初のものでありまた本格的な地方長官會議として現内閣の抱懷する政綱政策と時局に對する正確なる認識とを同會議を通じて一般國民に徹底せしめんとするもので定刻午前九時横山警視總監、池田北海道廳長官を始め參集政府側より林首相を始め全内僚その他關係官出席、林首相、佐藤外相、鹽野法相、兒玉遞相の訓示があつた。

寫眞は

一、地方長官會議



同盟寫眞

内地ニヨリヌ

第五號

◎開かなかつた落下傘

|| 悲憤の弔合戦 ||

(東京) 十二年五月十七日

昨年十一月二十一日洲崎飛行場で開かなかつた落下傘のために無残墜落惨死した野中式落下傘の再實驗は十七日午后一時半同飛行場で決行、發明者野中氏始め關係者多數參集、第一回三十米の模擬落下は見事成功、第二回六十五米で西田飛行士は完然低空降下を試み是亦バツト開いて亦見事な成功を納めた。

寫眞は

一、開いた落下傘(中央は發明者野中氏)



同盟寫真

内地ニユース

第四號

◎臨時物價對策委員會

(東京)十二年五月十八日

物價騰貴の眞因を探求しこれが對策を樹立する
ため過般設置された臨時物價對策委員會第
一回總會は十八日午前十時より首相官邸に於
いて開會、林會長、結城、伍堂、山崎三副會
長以下各委員、特別委員全部出席、劈頭林會
長より一場の挨拶あつた後、物價對策の根本
方策に關し種々協議した。

寫眞は

一、第一回總會



同盟寫眞

内地ニユース

第二號

◎河原田内相訓示

地方長官會議第二日

(東京)十二年五月十八日

地方長官會議第二日は十八日午前九時八分より内務省に於て開會、本省側、地方側約七十名出席劈頭河原田内相は内政改革に關する訓示を行ひ終つて指示會議に入り神社、地方、警保、土木、衛生、社會の各局並に都市計畫課所管に屬する指示事項並に諮問事項につき關係局長より詳細説明ありて後直ちに質疑に入り本省と地方との間に質疑應答を重ね正午一旦休憩、午后一時半より午前に引續き會議を開き指示事項全部の協議を終へた。

寫眞は

一、河原田内相の訓示



同盟寫眞

内地ニュース

第一號

◎大鐵傘をゆるがす

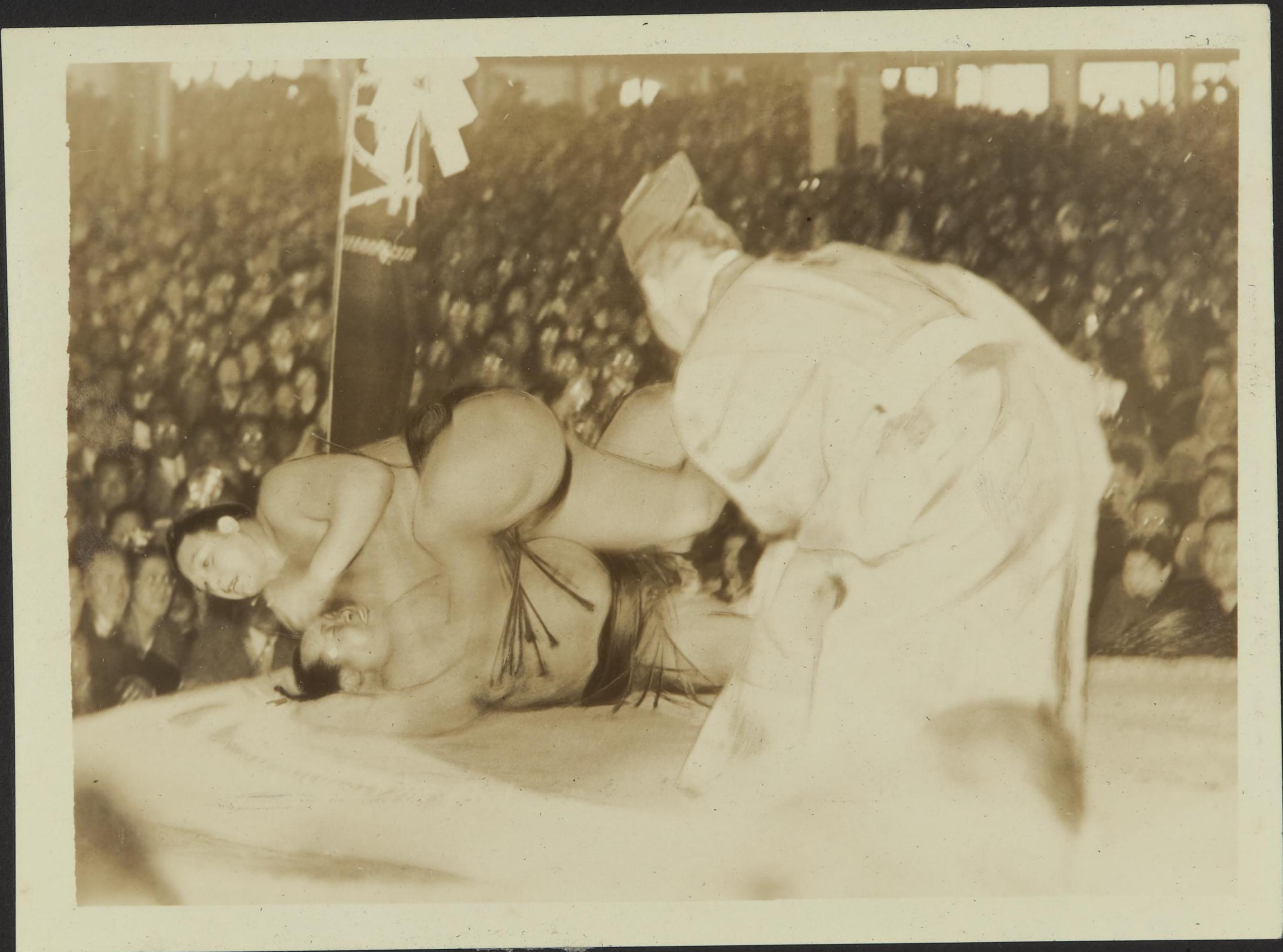
双葉山、玉錦の一戦

(東京)十二年五月十九日

大鐵傘を埋むる幾萬の觀衆の人氣を獨り占めにした双葉と玉の一戦果然立上るや双葉の下
手投見事に極つて三十五貫の玉ドウと許りに
倒れて即ちやむ、この間二秒、これに依つて
今場所の最優勝者は双葉と確定、前場所、前
前場所と共に三場所全勝は角界最初の驚くべ
き猛勇振りで廿六才若冠の双葉に輝く榮冠は
來場所の横綱だ。

寫眞は

一、双葉、玉を破る利那



◎林内閣糾彈の

政民連繫初協議會

(東京)十二年五月十九日

林内閣倒壊を目標とする政民兩黨初協議會は十九日午前十一時より帝國ホテルに開催、民政黨側「頼母木、小川、大麻、永井、太田(政)小山(松)富田、櫻内、俵、小泉」政友會側「川村、東、安藤、濱田、若宮、岡田植原、砂田、金光、松野の諸氏出席、小泉松野兩幹事長より一場の挨拶を述べ倒閣の具體的運動方法につき協議を進めた。

寫眞は

- 一、兩黨初協議會(向つて右より)東、砂田
小山、太田(政)頼母木、植原、櫻内、
安藤、金光、川村、俵、松野、小泉、岡
田、大麻、若宮、小川、永井、富田の諸
氏



同盟寫眞

内地ニユース

第五一八號

◎三内親王様運動會御參加

(東京)十二年五月廿日

五月晴れの廿日午前九時から神宮外苑競技場で女子學智院春季体操會が盛大に行はれた、この日御在學中の照宮、孝宮、順宮三内親王殿下には午前八時十五分吳竹寮御出門、外苑競技場に成らせられ一般生徒と御共にマスケームを始め六十米競走、レコード競走、旗取競走、紅白球入れ等に御出場楽しい半日をお過ごし遊ばされた。

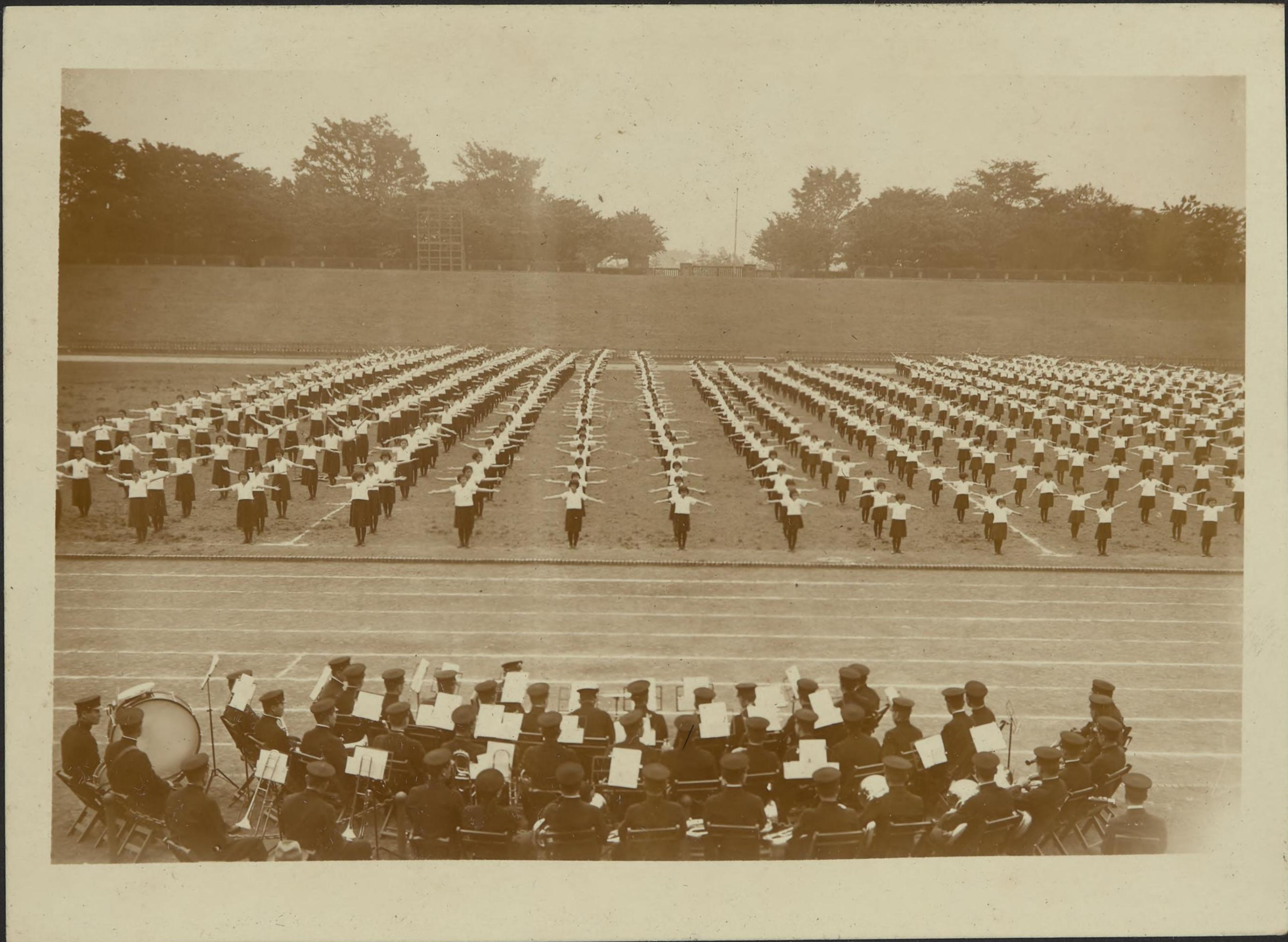
寫眞は

- 一、合同体操
- 二、六十米スタート(手前照宮様)
- 三、旗取競走に御出場の順宮様
- 四、スタンドで御聲援の孝宮様(△印)









同盟寫眞 海外ニユース 十二年五月廿一日

◎ヒンデンブルグ號爆破の刹那

「レークハースト」ニユージージー州へ發同盟
寫眞は去る五月六日、本年最初の大西洋横斷
飛行を見事完成して當地空港に着陸待勢の時
「謎の原因」で爆破一瞬にして墜落した獨逸
の誇る空の豪華船「ヒンデンブルグ號」

(1) 爆破の瞬間

(2) スケトンのみを残した無慘なヒ號





同盟寫眞

内地ミニニス

第六號

◎大虎もダーツとなる酒樽の家

(東京)十二年五月廿二日

如何なる大虎もダーツとならうと云ふ途方もない飲み屋が市内某所に出現した、入口の扉が先づ酒桶の蓋、座敷五ツは何れも一つで四斗樽二百八十本が造れるといふ醸造用大樽で座蒲團までがなんと酒をしぼる酒袋、飲み盃が又二合は樂に入ると云ふ小樽と云ふからすさまじい

寫眞は

一、酒樽の家



同盟寫眞

内地ニユース

第三號

◎裁判史上空前の光景

兩角判事證人台に立つ

(東京)十二年五月廿二日

豫審判事の喚問と云ふ裁判史上空前の英斷で
果然司法部内の大問題となつた帝人事件第二
百三十三回は廿二日午前九時から東京刑事地
方裁判所第一部藤井裁判長係りで開廷された
雨を冒して早朝より詰めかけた一般傍聽者と
部内の判檢事で傍聽席は立錐の余地もない盛
況、被告席も三土元鐵相、中島男等常に缺席
勝の人々も顔を見せ、辯護士も全員出廷して
はちきれんばかりの緊張のうちに九時十分當
の兩角判事は冷たい微笑を浮べて入廷證人台
に立つた。

寫眞は

一、入廷の兩角判事



同盟寫眞

内地ニユース

第一號

◎杉山陸相西下

(東京)十二年五月廿二日

杉山陸相は廿二日山本秘書帶盟羽田發定期航空機にて福岡に向ひ陸軍工廠第十二師團及び軍需工業等を視察、廿七日朝歸京の豫定であるが日程左の如くである。

△二十二日 午前十時半羽田發、福岡着博多

一泊

△二十三日 小倉工廠視察、博多一泊

△二十四日 久留米師團視察

△二十五日 神戸軍需工業視察大阪一泊

△二十六日 名古屋軍需工業視察

△二十七日 朝東京驛着歸京

寫眞は

一、羽田發の杉山陸相



同盟寫眞

内地ニユース

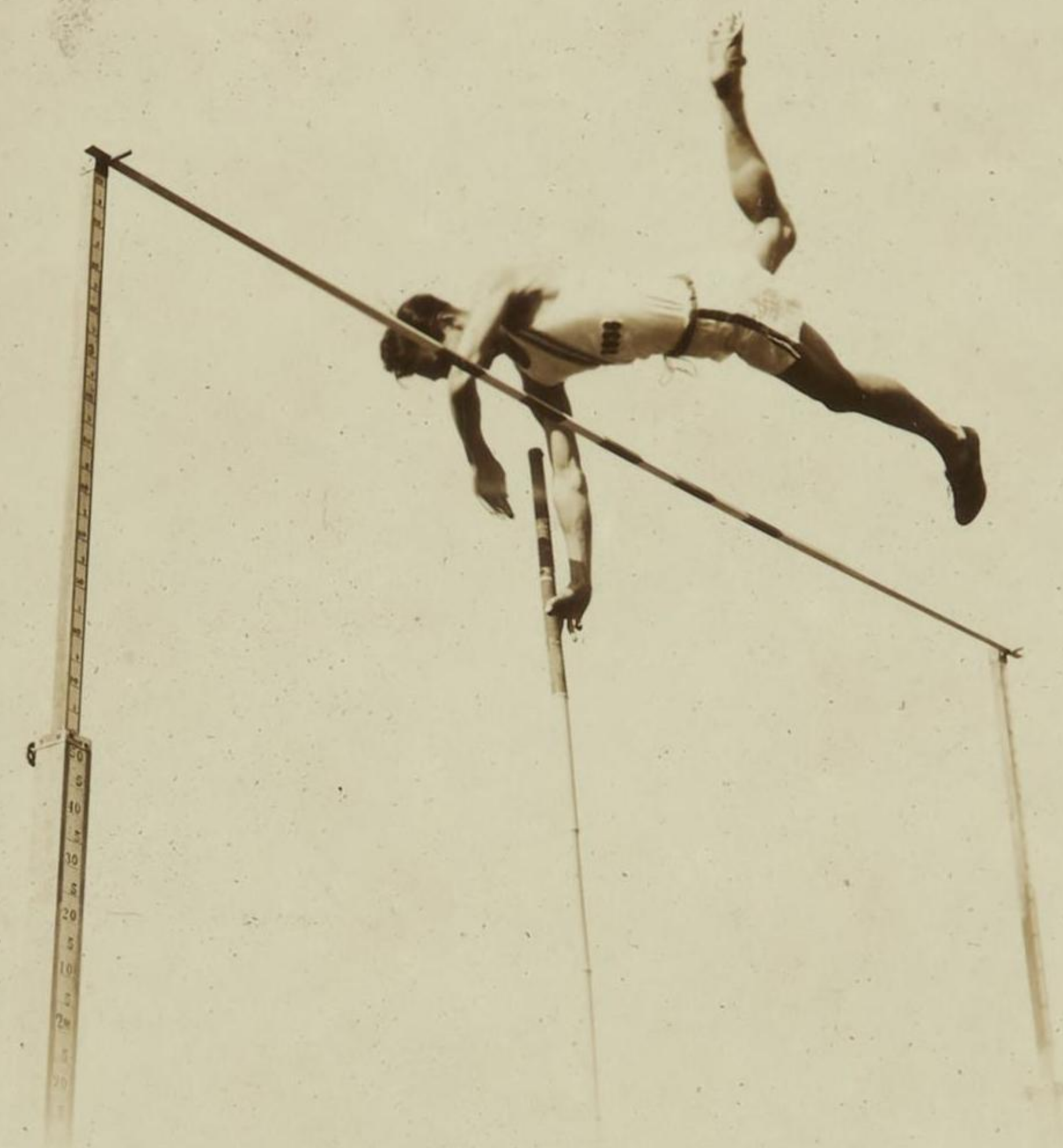
第二號

◎大江村社兩選手歡迎陸上競技

(東京)十二年五月廿三日

日本陸上聯盟主催の大江、村社兩選手歡迎陸上競技會は二十二日芝公園競技場で行はれ、午後一時大江、村社兩選手を先頭に参加選手入場し平沼會長の歡迎の辭、外務大臣の祝辭代讀あり午後三時から競技は開始された
寫眞は

- 一、四米二〇を越へる大江選手と五千米のテ
ーブを切る村社選手



◎生れてはじめて

別莊に寛いだ林首相

(東京)十二年五月廿三日

鎌倉雪の下に五千坪といふ廣大な別莊を持つた林首相、日曜の廿三日朝、家族も連れず自動車で初夏の薫風について鎌倉までドライブ生れてはじめての別莊といふものに乗り返んだ、五千坪、十三棟(萱葺き)庭園には、八百本の松と四百本の梅の間に大竹林と麥畑まであしらつた廣大そのもの、鎌倉隨一といはれる大別莊、所有者神田兼太郎氏がおヒゲ内閣様の靜養用とあらばと無賃で提供したのでさうだが、こゝはかの源頼朝がいはゆる鎌倉幕府の執政を行つた由緒の地で、十三棟の建物も、當時を模倣して造られたもの、日歸りのことゝて和服にも着替へず、庭下駄をつつかけて廣い庭園を一時間近く歩き廻つてすっかり感心、近くの料理屋から辨當をとつて簡便な晝食をとつた後、午後五時頃まで讀書して夕闇迫る頃永田町の官邸に歸つた。

寫眞は庭内の麥畑を見る林首相